

神戸物産グループ
会社説明会資料

2015年1月28日

ご挨拶

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の我が国の小売業の状況は、2014年4月の消費増税や、円安の進行に伴う原材料や商品の仕入価格の高騰によるインフレーションで、消費者の節約意識が高まり、厳しい経営環境となっております。

神戸物産グループはこのような状況下でも、戦略的な低価格路線の強化や、新しい業態や海外への進出、エコ再生エネルギー事業の拡大、そして、日本最大の六次産業をさらに推し進めることで、第29期連結会計年度の売上高を前期比19.2%増の2,140億28百万円とすることができました。

また、当社の株価は、平成25年12月30日の終値（2,304円）と平成26年12月30日の終値（9,700円）を比較いたしました結果、約4.2倍に上昇することができました。

株式会社神戸物産は、1985年11月に設立し、2000年3月より、製造と販売の一体化（SPA）や、C&C（キャッシュ&キャリア）方式により、ローコストオペレーションを可能にした新しい流通業態である「業務スーパー」を推進することにより、2006年6月に大阪証券取引所第2部に上場し、2013年7月には東京証券取引所第1部に上場することができました。

この度、このようなご評価を頂きましたのも、株主様・お客様・取引先様をはじめ、多くの皆様のお力添えの賜物と存じます。

神戸物産グループは、今後も業務スーパー事業の積極的な展開をはかり、大分県・北海道では観光立国日本の一翼を担えるように施設の準備を進め、なおかつ、太陽光発電・地熱発電事業で民間企業として日本最大級の規模で発電事業を推し進めてまいります。

我が国の経済環境は今後も円安基調が続くと思われ、食品輸入原料のコストアップ、少子高齢化による内需の減少などで、業態を越えた寡占化はさらに進むと思われまます。神戸物産グループはどのような時代を迎えても、グローバルな目線で時代を先読みし、神戸物産グループの「六次産業『真』の製販一体」をさらに加速し、事業の拡大を目指して前向きに取り組んでまいりますので、何卒、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

目次

・ 2015年10月期 神戸物産連結目標及び施策について	1
・ 神戸物産 中期ビジョンについて	2
・ 連結業績ハイライト	3
・ 各種相場	4
・ 神戸物産グループの第三次産業(業務スーパーの取り組み)	5
・ 神戸物産グループの第三次産業(業務スーパーの取り組み)	6
・ 神戸物産グループの第三次産業(輸入食品店「ガレオン」)	7
・ 神戸物産グループの第三次産業(外食・中食事業)	8
・ 神戸物産グループの第三次産業(クックイノベーション事業)	9
・ テレビ・新聞などの媒体掲載情報(抜粋)	10
・ 神戸物産グループの製販一体 第一次産業・第二次産業	11
・ 神戸物産グループのエコ再生エネルギー事業	12
・ 神戸物産グループの海外事業(アメリカ)	13
・ 神戸物産グループの海外事業(エジプト)	14
・ 神戸物産グループの観光事業	15

2015年10月期 神戸物産連結目標及び施策について

① 売上予算

- ・2015年10月期連結売上高を2,230億円(前年比104.2%)とします。
- ・2015年10月期単体売上高を1,906億円(前年比102.7%)とします。

② 流通事業

- ・業務スーパーFC店舗出店目標は、2015年10月期末で710店舗以上とします。
- ・世界の食品を扱う、輸入食品店『ガレオン』のFC展開を進めます。
- ・海外商品(世界の本物を直輸入)の開発を加速し、売上高290億円(前年比105.5%)とします。

③ 外食事業

- ・国内の和食レストラン『ビュッフェ&しゃぶしゃぶ神戸』のFC展開を進めます。

④ エコ再生エネルギー事業

- ・太陽光発電事業160MW以上の発電設備工事に着工します。
- ・地熱発電事業を推進します。

⑤ 海外事業

- ・海外の和食レストラン『しゃぶしゃぶ神戸』のFC展開を進めます。

⑥ 観光事業

- ・北海道・九州を中心とした観光事業を進め、観光立国としての町おこしに注力します。

神戸物産 中期ビジョンについて

株式会社神戸物産は1985年11月に設立し、2000年3月より製造と販売の一体化(SPA)や、C&C方式により、ローコストオペレーションを可能にした、新しい流通業態である「業務スーパー」を推進してまいりました。第29期も既存店売上高が105%以上と消費増税後も順調に伸びております。

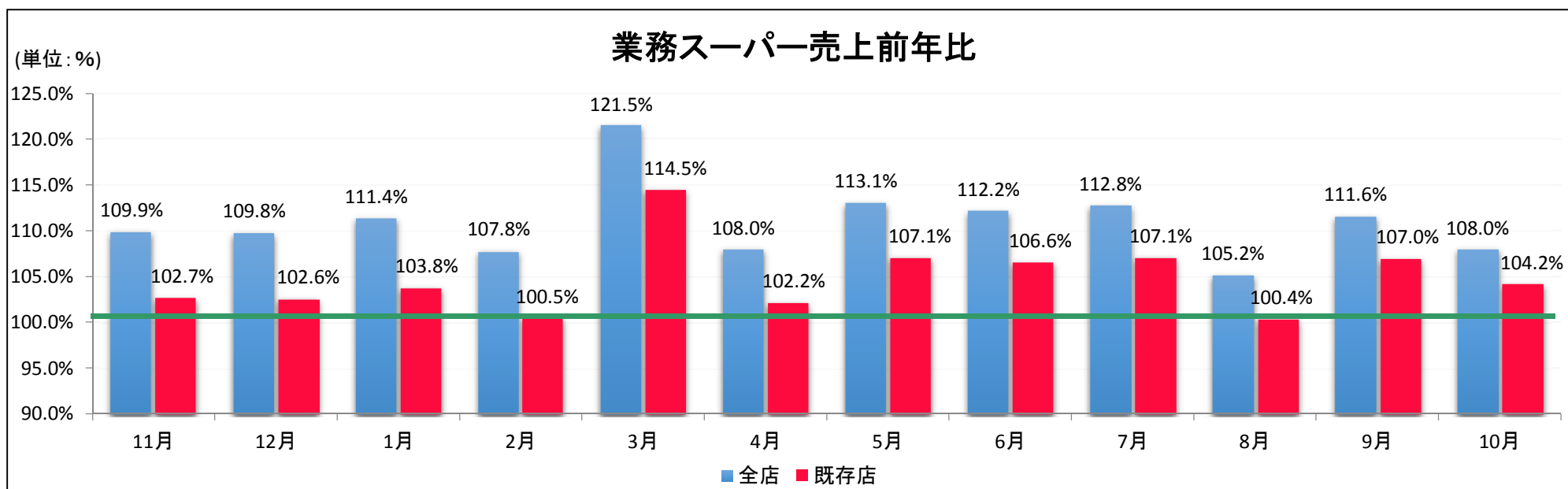
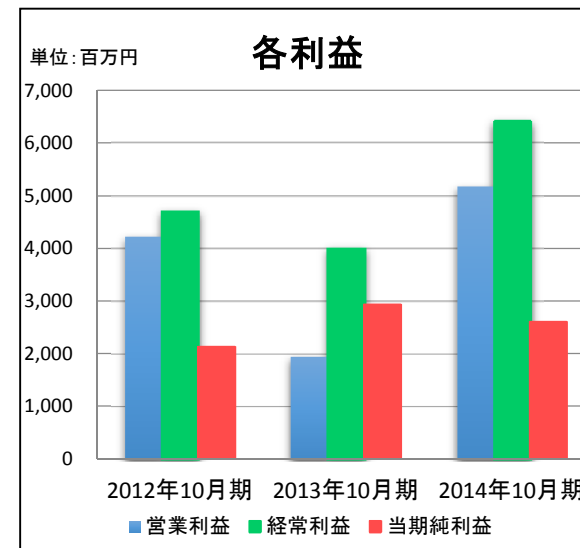
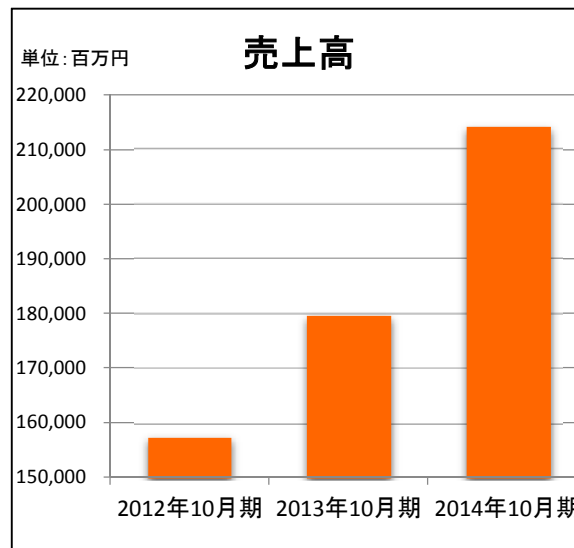
また、神戸物産の第二の柱として取り組んでおります、太陽光発電事業も、経済産業省の許可及び電力会社の認可について355MW以上取得済みであり、一企業としては最大級の規模で、運営を計画しております。太陽光発電事業以外の地熱発電事業、バイオマス発電事業につきましても事業展開が順調に進んでおります。

さらに、日本は世界の中でも自然環境の整った美しい観光立国でありますので、2016年の開園を目指して約5年前より、北海道の道南エリア(函館方面)、大分県の九重町・湯布院にて、世界最大級の温浴施設や観光果樹園、ショッピングセンター、保養地等を合わせて約450万㎡の敷地(東京ドーム約100個分)で展開を予定しており、日本人はもちろん、海外からの観光客の方に合わせた施設を準備しております。

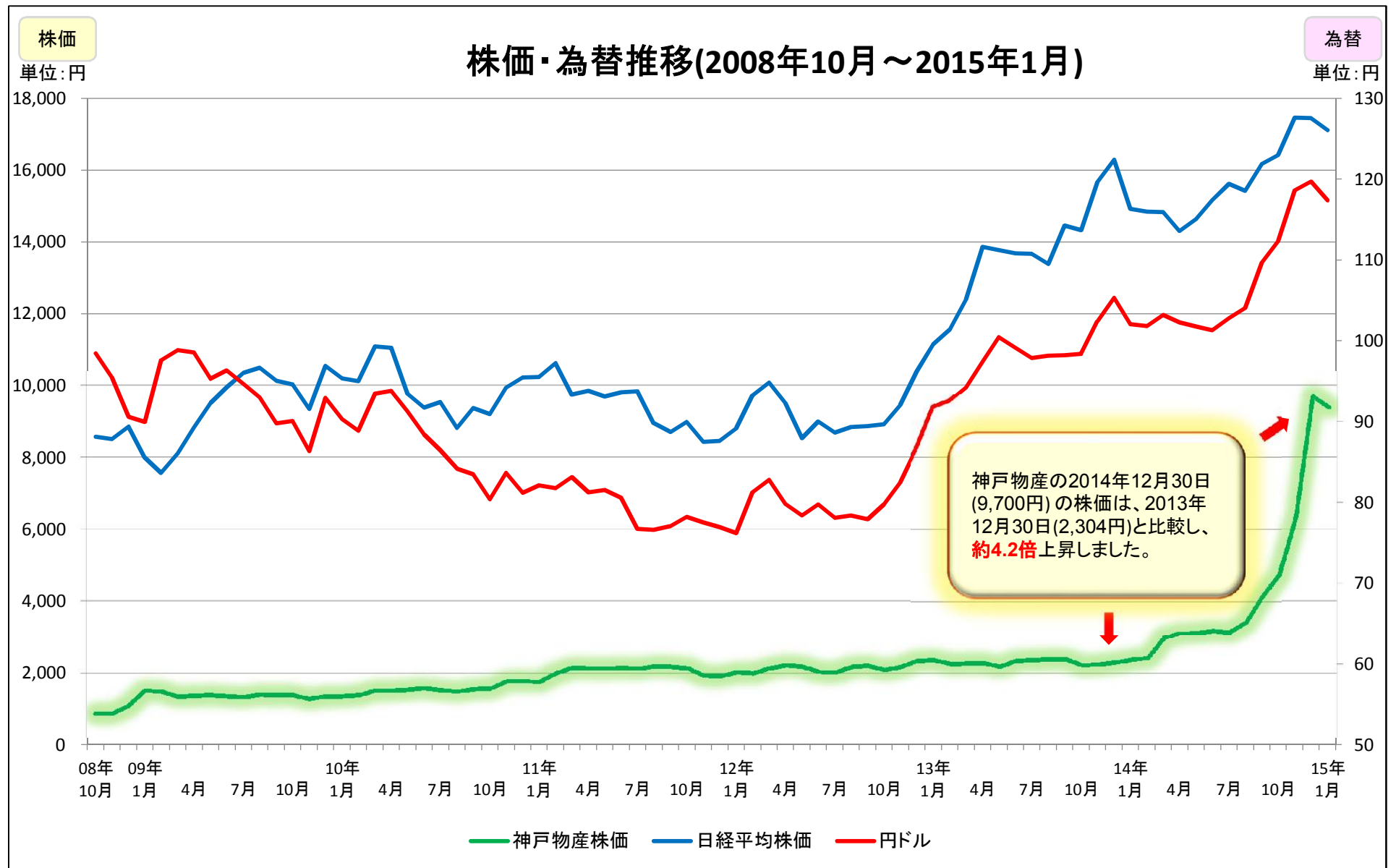
以上のことから、上記全てが整います3年後の**2017年10月期には、連結売上高3,000億円、連結経常利益は150億円を目標**とし、積極的な事業展開を行っていく所存でございます。

連結業績ハイライト

事業年度	2013年10月期 連結累計期間 (売上比率) ※単位:百万円	2014年10月期 連結累計期間 (売上比率) ※単位:百万円	増減比率
売上高	179,499(100.0%)	214,028(100.0%)	19.2%
売上総利益	19,559(10.9%)	32,191(15.0%)	64.6%
販売管理費	17,602(9.8%)	27,013(12.6%)	53.5%
営業利益	1,956(1.1%)	5,178(2.4%)	164.7%
経常利益	4,012(2.2%)	6,424(3.0%)	60.1%
当期純利益	2,929(1.6%)	2,601(1.2%)	△11.2%



各種相場



神戸物産グループの第三次産業（業務スーパーの取り組み）



店舗数：全国685店舗（2014年10月31日現在）

自社グループ工場で生産加工した商品をはじめ、世界各国から直輸入した「世界の本物」の商品を、ベストプライスで販売するプロ向け食品スーパーです。

第29期におきましては、純増27店舗となり、総店舗数は関東エリア336店舗、関西エリア349店舗、合計685店舗となりました。

増税前の大放しセール(2014年2月～3月)

4月に消費税を控え、お客様の買いだめ需要が高まることから、業務スーパーでも常温での保存が可能な大袋の商品などを中心にした「増税前の大放しセール」を実施させていただきました。

消費税後の戦略的値下げ(2014年4月)

消費税によりお客様の節約志向が強まる中、業務スーパーでは売れ筋商品を中心に約500品目の値下げを実施いたしました。これにより、お客様に業務スーパーのお買い得感を再認識していただき、消費税後の売り上げアップにつながったと考えております。

神戸物産グループの第三次産業（業務スーパーの取り組み）

お客様大感謝セール(2014年9月~10月)

「安い楽しい」15秒CM



(主婦)
ええ!?

5食入りで
138円!?



(コマソン)
業務スーパー
業務スーパー!



(お母さん)
おお!?
イタリア産で
38円!?



(コマソン)
安い楽しい
業務スーパー!



(NA)
今なら
セール実施中!!



(コマソン)
業務スーパー
業務スーパー!

9月には業務スーパー本部として初めてのテレビCMを実施いたしました。

■放送地域・放送局
近畿地方全域
(三重県・徳島県など近隣県の一部にも放送)

・関西テレビ
・よみうりテレビ
・毎日放送
・朝日放送

■放送期間
2014年2月1日~15日

新しい広告媒体の利用により、新規のお客様の獲得に成功いたしました。

その他の取り組み

神戸物産グループとして、新規のお客様の獲得や、既存のお客様により商品の良さを知っていただけるよう、常に新しい取り組みを行っております。

月間店長おすすめポスター

月替わりで店頭ポスターを作成し、シーズンに合わせた商品・メニュー提案を行いました。



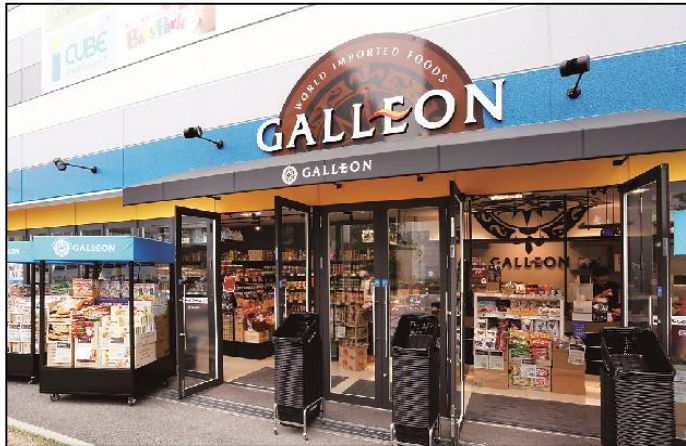
店舗向け試食会の実施



4月に店舗向けの試食会を初めて実施いたしました。商品の特徴を店舗スタッフの方にご理解いただくことで、お客様にもより商品の良さを伝えていきたいと考えております。

神戸物産グループの第三次産業（輸入食品店「ガレオン」）

ガレオンとは……16世紀半ばから18世紀に大型商船として運用され、新大陸との交易など幅広く活躍した帆船のことで、そのガレオン船が世界中を航海し、世界の商船として活躍したように、世界各地の名物や美味しい商品の数々を直輸入で集め、お客様へお届けいたします。



店舗数：1店舗（2014年10月31日現在）
形態：モールイン型

自社で世界各国から直輸入した「世界の本物」の商品をメインに取り扱う輸入食品店です。2014年4月に1号店として兵庫県神戸市にHAT神戸店がオープンいたしました。

2015年春には2号店のオープンを予定しており、今後はFC展開も視野に店舗を拡大していく予定です。



店内には多くの珍しい輸入食品が並んでおります。ガレオンでは店頭POPや試食などを実施し、馴染みの少ない輸入食品でも安心してお客様にお買い物をお楽しみいただけるお店づくりを行っております。

また、バレンタインやクリスマスなど、イベントの際にもPOPなどを変更し、シーズンにマッチした商品をご提案させていただいております。



神戸物産グループの第三次産業(外食・中食事業)



神戸クックワールドビュッフェ
 世界各国の料理をビュッフェ形式で提供する
 レストラン
 店舗数: 14店舗 (2014年10月31日現在)
 形態: 単独店舗・ショッピングセンターイン型
<http://www.kobecook-wb.jp/>



Green's K
 出来立ての惣菜を提供する小型スーパー
 店舗数: 10店舗 (2014年10月31日現在)
 形態: 単独店舗・スーパーイン型
<http://www.greensk.jp/>



Green's K 鉄板ビュッフェ
 ビュッフェとセルフクックが融合したレストラン
 店舗数: 8店舗 (2014年10月31日現在)
 形態: 単独店舗・ショッピングセンターイン型
<http://www.greensk.jp/teppan/>



ビュッフェ&しゃぶしゃぶ神戸
 2014年10月に1号店がオープンしました。
 ビュッフェとセルフクックに加え、しゃぶしゃぶ
 も楽しめる新感覚レストラン
 店舗数: 1店舗 (2014年10月31日現在)
 形態: 単独店舗
<http://www.buffet-shabushabu-kobe.com/>



神戸物産グループの第三次産業(クックイノベーション事業)

- 神戸物産は第28期第2四半期より連結子会社となりましたジー・コミュニケーショングループに対し、スポンサーとして資金提供、資本参加等の経済的支援を行い、事業の再建・企業価値の向上を図ってまいります。
- クックイノベーション事業においては、従来より進めております外食事業の推進を図るとともに、企業結合による取引関係の一体化を推進し、経営資源の集中と効率化による競争力の強化・売上の拡大と収益率の向上に努めてまいりました。
- 当社グループは「六次産業『真』の製販一体」というグループ目標を掲げ、安全・安心なオリジナル商品をベストプライスで安定供給する一方、ムダ、ロス、非効率を徹底的に排除したローコストオペレーションを実施してまいりました。その一環として、第三次産業である外食事業を強化し、既存の体制をより強固にすることを目的としております。



G.communication

店舗数：全国772店舗（2014年9月30日現在）



テレビ・新聞などの媒体掲載情報(抜粋)

2014年1月から12月までの一年間で50件以上の媒体掲載がございました。昨年の傾向といたしましては、ハラール食品に関するテレビ取材や、業務スーパー以外の事業に関する取材、株式関連雑誌などで注目株としての紹介などが目立ちました。

掲載日	媒体名	種別	取材店舗/掲載テーマ	概要
1月30日	朝日放送「キャスト」 (いきなり！出口調査)	テレビ	業務スーパー伊川谷店 商品紹介	今注目のスーパーとして紹介。お客様にどのような商品をどういった活用法で使っているかをインタビュー。インタビューで紹介されたソイキューブのコーヒーゼリーをスタジオでも試食。
2月28日	NHK 「ニュースウオッチ9」	テレビ	業務スーパー新宿榎店 価格戦略	消費税引き上げ前の各社の対策という中の1社として業務スーパーの「大放しセール」を紹介。
3月26日	日経新聞	新聞	価格戦略	業務スーパーの4月以降の価格戦略などに関する記事。
4月01日	テレビ朝日 「グッド！モーニング」	テレビ	業務スーパー長者町店 価格戦略	増税前の駆け込みの様子と、増税後のサービス内容など、他の百貨店や量販店の様子や取り組みと一緒に、業務スーパーの駆け込みの様子と4月以降の価格戦略についても放送。
5月02日	神戸新聞	新聞	エジプト事業	エジプトでの小麦収穫についての記事を掲載。
8月28日	朝日放送「キャスト」 (いきなり！出口調査)	テレビ	ガレオンHAT神戸店 商品紹介	神戸物産グループの輸入食品店として、店舗の紹介、商品の紹介、店舗内やスタジオでの試食、お客様インタビューなどを放送。
9月09日	日経新聞 朝刊 消費Biz欄	新聞	海外事業	しゃぶしゃぶ神戸Midtownオープンを紹介。
9月18日	関西テレビ 「スーパーニュースアンカー」	テレビ	業務スーパー今津店 ハラール食品	イスラム教徒のトルコ人夫婦の密着取材に関連して、業務スーパーでハラール食品が販売されていることを紹介。
9月12日	会社四季報プロ500 2014年秋号	雑誌	株価	本命銘柄50という中の一社として神戸物産を掲載。
10月07日	日経新聞 朝刊 マーケット総合2	新聞	株価	上昇率が大きい主な銘柄として神戸物産を紹介。
10月21日	テレビ東京「ガイアの夜明け」	テレビ	安全への取組	中国の賞味期限切れ鶏肉の使用問題などに関して、食の安全に取り組む日本企業として、神戸物産の検査体制や取り組みを紹介。
10月21日	日経BP(WEB)	WEB	エネルギー事業	嘉麻発電所をメインに神戸物産のメガソーラー事業に関する記事を掲載。
10月28日	aene アイネ 12月号	雑誌	業務スーパー 商品紹介	読者が普段買っている商品の紹介や、その商品を使ったレシピを紹介。
11月01日	チェーンストアエイジ	雑誌	事業戦略	神戸物産のビジネス全般に関する沼田社長へのインタビュー記事を掲載。
11月24日	読売テレビ 「朝生ワイド す・またん！」	テレビ	鉄板ビュッフェ門真店	「外食のお得情報をご紹介」というコーナーで、安くてセルフクックが楽しめるお店として鉄板ビュッフェを紹介。
11月26日	読売テレビ「かんさい情報ネット ten.」(GO!GO!若一調査隊)	テレビ	業務スーパー東別府店 ハラール食品	ムスリムフレンドリーを紹介する中で、ハラールフードの販売店として業務スーパーを紹介。店内をレポーターが回りながら、ハラールマークの付いた商品を探す様子や、店長インタビューを放送。
11月27日	関西テレビ 「よ〜いドン！」(人気モン見学)	テレビ	業務スーパー東別府店 商品紹介	矢野兵頭と関アナウンサーの3人で、業務スーパーで買い物しながら商品を紹介。矢野兵頭は素食品工場の見学をし、試食なども放送。
12月20日	NISAマル秘投資術	雑誌	株価	投資家向けの雑誌の対談で、「強い経営者がいる会社にも注目している」というテーマで神戸物産に関するコメントを掲載。

神戸物産グループの製販一体 第一次産業・第二次産業

第一次産業

○ 農業・畜産業

<株式会社神戸物産エコグリーン北海道>

所有地面積(2014年10月31日現在):約1,540ha
農地・牧場として累計2,000haの取得を目指します。

<KOBE BUSSAN EGYPT Limited Partnership>

保有農地面積(2014年10月31日現在):約2,900ha
通期で小麦やスイカの栽培に成功いたしました。



○ 水産業

宮城県石巻市で水揚げした魚を新鮮な状態で
お客様にお届けしております。



○ 養鶏業

株式会社グリーンポーターにおいて「吉備高原どり」を
養鶏しております。

その日に処理された鶏を、当社独自の温度管理と菌数
管理により新鮮なまま業務スーパーに納品しております。



第二次産業

○ 国内外のグループ工場

大連福来休食品有限公司
神戸物産(安丘)食品有限公司
株式会社オースターエッグ
株式会社ターメルトフーズ
株式会社ソイキューブ
秦食品株式会社
株式会社マスゼン
株式会社肉の太公
株式会社麦パン工房
宮城製粉株式会社
株式会社神戸物産エコグリーン北海道
株式会社エコグリーン埼玉
株式会社川口工業
株式会社神戸機械製作所
株式会社グリーンポーター
珈琲まめ工房株式会社
ほくと食品株式会社
豊田乳業株式会社
株式会社富士麺業
関原酒造株式会社
菊川株式会社



合計 21社 24工場

国内自社食品工場数 日本一

当社はこれまで、日本国内において自社食品工場の増強を図って
参りましたが、その結果、日本国内での食品工場保有数は19となり、
食品小売業界で「日本一」(*)になりました。

(*) 大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、且つ100%出資
の国内食品工場を保有している会社を対象として2014年8月に調査

神戸物産グループのエコ再生エネルギー事業

温室効果ガスであるCO₂の削減、将来的なエネルギー供給の安定化等の観点から、2012年11月よりメガソーラー発電事業を開始いたしました。

2014年10月末現在、北海道で3ヶ所、兵庫県で4ヶ所、福岡県で5ヶ所の計12ヶ所で約15.2MWの発電を開始しております。日本の経済産業省の許可及び電力会社の認可については355MW以上取得済みで、一企業としては最大級の規模で運営を計画しております。

また、この他にも日本が世界に誇る世界有数のクリーンエネルギーである地熱発電にも取り組み、今後も化石燃料の利用を抑え、より安全でクリーンな再生可能エネルギーの普及拡大を進めてまいります。



日本最大級の大型温水ハウス



世界最大級の温浴施設



木質バイオマス発電事業

北海道白糠郡白糠町において、新たに木質バイオマス発電事業を行い、白糠町で取り組みが進められているヤナギなど早生木の利活用と植栽などにも協力しながら、地域に根差した自然エネルギー循環型モデルを構築することが当事業の目的です。



日本は世界で有数の地熱資源大国です。

地熱は無限に近い地下エネルギーであり、化石燃料(石炭、石油、天然ガス等)の極めて少ない、世界に誇れる日本の地下資源です。

また、地熱発電は再生可能エネルギーの中でも天候・昼夜に左右されず、安定した発電が可能で、発電効率が良く、なおかつ地球温暖化の原因とされている二酸化炭素の排出が最も少ない、エコロジーなクリーンエネルギーです。

神戸物産グループの海外事業(アメリカ)

しゃぶしゃぶ神戸 Midtown店

2014年10月8日グランドオープン!
 ニューヨークマンハッタン 3 W 36st
 店舗面積 6,100sf (567㎡) 約180席



神戸物産USAフランチャイズ本部 (自社ビル物件)

2014年8月末取得済
 ニューヨークマンハッタン77レキシントン角地
 ビル総面積6,118sf (569㎡) 地上4階 地下1階



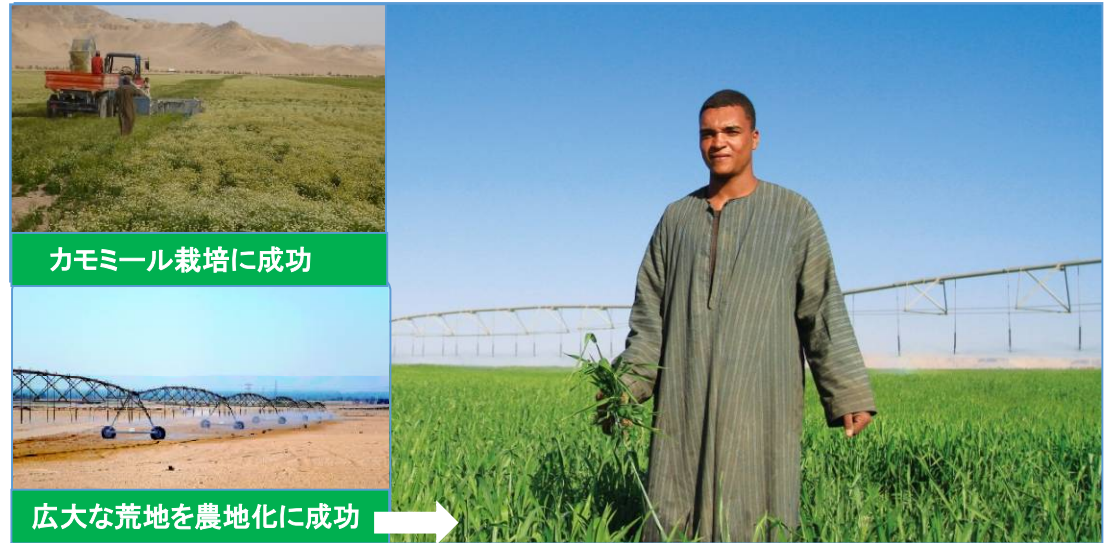
■今後の展開について■
 今後はアメリカ国内でもフランチャイズシステムを導入し、多店舗展開を進め、そのスケールメリットを活かし、外食、業務スーパー、惣菜事業や食品加工工場、物流センター等、日本の事業と同様に製造と販売の一体化(SPA)に取り組み、アメリカ、ヨーロッパを中心に意欲的に事業展開を進めて行く予定です。

神戸物産グループの海外事業(エジプト)

KOBE BUSSAN EGYPT(神戸物産エジプト)は日本全国で展開する業務スーパーのフランチャイズ本部である神戸物産グループ「食の製販一体」の原材料供給を強化する目的で2006年10月に設立されました。日系企業として初めてアフリカ大陸への農業投資を行い、年中太陽の光を浴びているエジプト南部地域で砂漠の不毛地を購入し、面積約2,900haの拡大な荒地を自社で5年間かけて農地化に成功しました。色々な作物の試験栽培を繰り返しながら砂漠で貴重な水を有効に利用する最新技術を導入し、ナイル川の水源をフル活用しています。

2014年春に1,200トンの小麦を収穫し、その内100トン~~を~~地元の地域住民の方々に寄付いたしました。2015年の春には3,000トン以上の収量を目指しています。

砂漠の緑化による食糧危機問題解決への貢献、就職機会の創出、農業のノウハウの伝授などの業績はエジプト国内に留まらず脚光を浴びています。



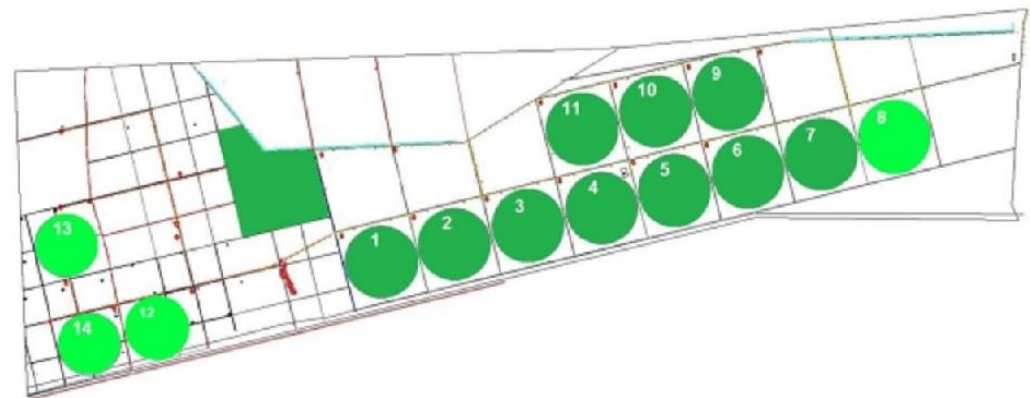
カモミール栽培に成功

広大な荒地を農地化に成功

1基約80ha灌漑設備(センターピボット)14基設置及び稼働。
何千年も未使用の砂漠で小麦やハーブ(カモミール)収穫に成功。



収穫した小麦100トン~~を~~地元の地域住民の方々に寄付いたしました。



センターピボット14基 (1,120ha)
試験栽培圃場 100ha



神戸物産 エジプト
KOBE BUSSAN EGYPT
كوبي بوسان إيجيبت

神戸物産グループの観光事業

【北海道】函館プロジェクト

北海道新幹線 新青森・新函館北斗間の2016年3月開業に合わせて、日本最大級の果樹園やエコ温水ハウス・ふれあい動物コーナーなどファミリーで楽しめる全天候型の総合レジャー施設を設営いたします。

総合レジャー施設



【九州】九重・湯布院プロジェクト

2015年に九州の九重町に日帰り温浴施設をオープンいたします。ファミリーで楽しめる棚田式の露天風呂プールなど、心からの癒しをお届けします。



- 本資料には、平成27年1月28日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。
- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承くださいませ。
- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではありません。

～本資料に関するお問い合わせ先～
株式会社神戸物産
STB部門 森下・花房
TEL:079-496-6623
FAX:079-496-5871